

令和3年白老町議会人口減少に対応する政策研究会会議録

令和3年 8月25日(水曜日)

開 会 午前10時00分

閉 会 午前11時 8分

○会議に付した事件

協議事項

1. 中間報告に向けてのまとめ
-

○出席委員(7名)

座 長	大 淵 紀 夫 君	副 座 長	佐 藤 雄 大 君
委 員	西 田 祐 子 君	委 員	氏 家 裕 治 君
委 員	久 保 一 美 君	委 員	長 谷 川 か お り 君
委 員	貳 又 聖 規 君		

○欠席委員(1名)

委 員 森 哲 也 君

○職務のため出席した事務局職員

事 務 局 長	本 間 力 君
主 査	八 木 橋 直 紀 君
主 任	神 綾 香 君

人口減少に対応する政策研究会（第24回）

【調査事項】

事務調査：人口減少に対応する政策研究「若者定住」について

1. 中間報告に向けてのまとめ

- 大淵座長 定例会9月会議に予定している中間報告の報告書案を正副座長及び事務局にて作成した。追加意見等、報告書の内容について協議する。
政策提言へ向けた、議員に対しての報告であるため、議員が理解できる内容として全体で協議し、多く意見を出すことで報告書の内容を深めていきたい。
- 貳又委員 政策研究会の意見について、「OBが起業し、店舗として効果が実際に見える」と記載があるが、店舗はあくまで形であって地域貢献の姿が目に見えるということなのではないか。
今後に対して、地域おこし協力隊の意向を反映させることが主ではなくて、協力隊制度をまちづくりと効果的に連動させることが主体なのではないか。
- 氏家委員 効果、結果の可視化の部分で言えば、協力隊にかかわらず町民の目に見える形で展開していくことが大切である。
- 長谷川委員 協力隊に関わる事業の予算を町費で補助するという提案の仕方はできないか。
- 久保委員 協力隊の活用について、まだ手のついていない観光資源への着手や担い手不足に向けた協力隊の確保についても必要なのではないか。
- 佐藤副座長 今後の政策提言に向けた報告が主になっているので、アンケート調査や外国人労働者問題への取組などを含めた活動経過を追加していく。
- 本間局長 調査日程や研究会意見のほかに、取組経過については新たに項目を立てて報告書へ追加し報告する。
- 佐藤副座長 今までの議論の中で、協力隊にかかわらず住宅問題や家賃の問題が挙げられていた。住宅に関わる要望についても追加したほうがよいのではないか。
- 氏家委員 住宅問題については、協力隊との懇談の中でも話題に上がっていたが、これは若者の移住定住策全てに共通する課題である。今回は地域おこし協力隊に着目した報告であるので、住宅問題やそのほかの課題については今後調査を進めていくべきではないか。
- 大淵座長 外国人労働者問題や住宅問題、地域おこし協力隊について多く議論されてきたので、それぞれ政策研究会の設置期間をかけて調査していこうと考えている。今回は協力隊についての提言を予定しているので、報告書についても協力隊を主にした内容となっている。
- 氏家委員 総体的な報告については最終的に必要であると思うが、まずは項目を絞って議論し報告を進めた方が内容にメリハリが出て分かりやすい。
- 大淵座長 報告書には、本町の協力隊員を新規4名、常時在籍12名の採用を要望する旨の記載をしたが、これについての意見を伺いたい。
現在の協力隊は5名いるが、今年度で活動期間の終了する隊員は2名である。一度に12人在籍するよう採用するのではなく、毎年4名を新規採用し、常に12名が在籍するという考えである。
- 久保委員 人数が多ければよいということではないが、活動期間終了後の定住や起業などに囚われず、荷を押し付けすぎないためにも、一定の人数は必要であると思う。
- 大淵座長 報告書へ活動経過についての項目を追加し、本日出された意見を基に正副座長及び事務局で内容を整理する。
定例会12月会議にて町への政策提言を予定しているので、報告書の末尾には政策提言をしたい旨の文言を追加するとしてよろしいか。（一同：よろしい）
- 大淵座長 それでは報告書については9月上旬をめどに委員へ発送し、変更がなければ議長へ提出し定例会で中間報告とする。